

◆平成28年度 福生市立福生第三小学校 校内研究 研究構想図

本校の教育目標  
 ○よく考えやりぬく子  
 ・思いやりのある心豊かな子  
 ・進んで体をきたえ 健全な子

三小の児童の実態  
 ◎課題  
 ・自分で解決しようとして、諦めてしまう児童がいる。  
 ・毎時間の学習が身についていなく、前時の学習を忘れてしまう児童がいる。  
 ○伸ばしたい力  
 ・既習をもとに解決の見通しがもてるような力を付けていきたい。

**研究テーマ**  
 自分で解決できる児童の育成  
 ～既習事項を活用する力を育て、学習を定着させる指導の工夫～

目指す児童像  
 粘り強く、主体的に問題解決に取り組む子

低学年  
**研究仮説**  
 基礎基本の定着を図り、個々の児童にあった課題の提供をすれば、主体的に問題解決に取り組む児童になるであろう。

中学年  
**研究仮説**  
 最後まで解決しようとする流れを明確に提供することで、粘り強く主体的に問題解決に取り組む児童になるであろう。

高学年  
**研究仮説**  
 児童の実態に即した課題を提供し、一人一人に達成感を掴ませていけば、主体的に問題解決に取り組む児童になるであろう。

具体的な手だて  
 ・算数的活動を入れる。  
 ・教材・教具の工夫

具体的な手だて  
 ・小集団  
 ・掲示物  
 ・ノートの振り返り  
 ・ヒントカードの提示

具体的な手だて  
 ・グループでの話し合い、説明。  
 ・ノートの振り返り  
 ・掲示物